

近年の活動実績

- 4月中旬 県予選練習山行(朝明溪谷・釈迦ヶ岳一帯)
県予選に出場した2008・2009年度に実施しました。
- 4月下旬 春季大会(県内山域)
女子が2011年度、「優秀校」に選出されました。
- 5月上旬または下旬 新入部員歓迎山行 または 県予選練習山行
- 5月下旬 県総体・県予選(朝明溪谷・釈迦ヶ岳一帯)
男子が二年連続して県予選に出場しました。
2008年度は5位、2009年度は4位と、着実に成長したことを証明してくれました。
女子は県総体で、2010・2011年度と、二年連続して「優秀校」に選出されています。
- 6月中旬 夏季練習山行(県内山域)
- 7月中旬 合宿前トレーニング(錫杖ヶ岳 および 経ヶ峰)
合宿に向けて欠かせない山行となります。
- 7月下旬 または 8月上旬 夏山合宿(北アルプス または 南アルプス)
2003年度[3泊4日]北沢峠～仙丈ヶ岳～甲斐駒ヶ岳～仙水小屋～北沢峠
2004年度[3泊4日]上高地～横尾～常念岳～大天井岳～燕岳～中房温泉
2005年度[2泊3日]美濃戸～行者小屋～阿弥陀岳～赤岳～美濃戸
2006年度[2泊3日]新穂高温泉～わさび平～双六岳～新穂高温泉
2007年度[2泊3日]猿倉～白馬尻～白馬岳～猿倉
2008年度[3泊4日]上高地～徳沢～涸沢～奥穂高岳～横尾～上高地
2009年度[3泊4日]栂池～白馬大池～白馬岳～蓮華温泉
2010年度[3泊4日]夜叉神峠～南御室～鳳凰三山～青木鉱泉
- 10月下旬 秋季大会(県内山域)
- 11月上旬～中旬 秋季練習山行(県内山域)
- 1月下旬～2月中旬 冬季練習山行(県内山域)
年によっては数少ない雪中山行となり、貴重な経験ができます。
- 3月中旬 卒業生送別山行(県内山域)
海辺でのんびりとキャンプすることが多くなりました。



夏山合宿参加者の感想

「……二日目。朝出発する時、北岳がきれいだった。山小屋の人にお菓子をもらった。けっこう嬉しい。……山に来て、水のありがたみを感じる。水は蛇口から出てこないし、不便。もっと大切にしたいと思う。」

「……今回の登山は色々得る物があったと思う。人間が自然界では立場が弱い存在だと痛感した。山へ入る時は謙虚と感謝を持って入ろうと思った。」 (2010年)



「夏休みには、四日間の日程で白馬岳への夏山合宿をおこないました。二日目は天候が悪く、雲がかかり、白馬岳山頂では雨も降り、視界がすごく悪くて死ぬかと思いました。結局、三日目には、白馬三山の縦走は危険と判断してルートを変更し、比較的安全な道を通って蓮華温泉に下山しました。温泉では野天風呂を得意の全裸でハシゴして体の疲れをとりました。しかし、温泉のキャンプサイトでは、小さな虫が大量に発生していて、私達に襲いかかってきました。(ちなみに、去年の横尾ではアブに襲われました。)副部長は虫に刺されて腕に一生傷を負い、私達の夏山合宿は幕を下ろしました」 (2009年)



「……二日目、徳沢から横尾を過ぎて、本谷橋。ここで休憩。そこから涸沢を目指す、やや疲れてくる。上高地の近くでは多くの人とすれ違ったが、ここではそれもまばら。これまでどうって変わって急な路を登りつめると、——雪渓。雪の階段を楽しくも慎重に登る。結構な距離、雪の上を歩き、幕営地・国設涸沢キャンプ場へ到着した。着いたのは昼頃だったが、あまりの寒さに上着を引っ張り出した。陽が傾くと、氷河地形が本当に美しく、写真に収めた。」

三日目、体調不良者一名。残りのメンバーで本格的な行動に入る。難所・ザイテングラートの急登。絶景だった。登り切ったところ(正確には鞍部)の穂高岳山荘で休憩。そこから奥穂高岳を目指す、下から見上げた岩肌は、人が居るのが信じられないほどで、本当にこれを登るのかと思った。岩肌を垂直に登るコースに苦戦。見下ろせば、穂高岳山荘の屋根が不思議な角度で見え、妙な気分になったものだ。奥穂高岳に到着するも、本当の恐怖はこれからだった。来た路を引き返すのは恐怖以外の何物でもなかったと思う。岩壁に掛けられたハシゴは本当に恐ろしかった。

「……一言で言えば、とてもキツかったが、その価値は十分すぎる程あった。」 (2008年)

